

TTC 提案山行実施記録表

2013 年 10 月 5 日 報告者: 稲生俊雄(1/2)

山行名	南ア 北岳・間ノ岳・農鳥岳 [3193/3189/3026m 山梨県]								
実施日	2013 年 9 月 21 日(土)～ 23 日(月) 2泊3日(前日夜行、山小屋泊) 公共交通利用								
天候/参加人員	天候 : 9/21 晴れ、9/22 晴れ、9/23 晴れ レベル : ★★★ 参加8名								
パーティスタッフ	CL/計画:、SL:、会計:、救護:、(写真:) スタッフ名削除								
参加メンバー	参加者氏名削除 以上男性4名、女性4名								
費用	内訳: (一人当たり) [往路]夜行バス(新宿→広河原):6,600 円 [復路]奈良田温泉⇒身延 (バス): 1,200 円 身延⇒本厚木 (JR・小田急): 2,330+身延線特急券 630=2,960 円 計 4,160 円 [山小屋] 北岳山荘:7,900 円 大門沢小屋(含個室料):8,500 円 計 16,400 円 [入浴料] 500 円 合計: 27,660 円								
	歩行時間			休憩時間			行動時間		
	9/21	9/22	9/23	9/21	9/22	9/23	9/21	9/22	9/23
ガイドブック	6:50	7:40	3:40	—	—	—	—	—	—
計画	7:40	8:15	4:00	1:50	2:05	0:40	9:30	10:20	4:40
実行	7:32	8:43	3:53	1:38	1:32	0:27	9:10	10:15	4:20
実行コースタイム記録									
◆ 1 日目 (累積標高差: 登り約 1,650m/下り 280m、歩行距離: 約 6.3km)									
(夜行バス) (朝食) (155分+(休 10分)) (160分+(休・昼食 38分)) (71分+(休 8分)) (66分+(休 3分))									
新宿====広河原————二俣————八本歯のコル————北岳————北岳山荘(泊)									
22:00 6:55・7:30 10:15・10:32 13:50・14:02 15:21・15:31 16:40 着									
◆ 2 日目 (累積標高差: 登り 620m/下り 1,800m 歩行距離: 約 10km)									
(41分) (72分+(休 2分)) (73分+(休 5分)) (116分+(休・昼食 27分))									
北岳山荘————中白峰————間ノ岳————農鳥小屋————農鳥岳——									
6:32 7:13・7:17 8:31・8:43 10:01・10:11 12:34・12:42									
(43分) (178分+(休 17分))									
————大門沢下降点————大門沢小屋(泊)									
13:25・13:32 16:47									
◆ 3 日目 (累積標高差: 登り 150m/下り 1000m、歩行距離: 7.8km)									
(233分+(休 27分)) (バス) (JR 身延線・東海道線小田原経由・小田急)									
大門沢小屋————奈良田温泉=====身延駅=====富士=====本厚木									
5:45 10:05 (温泉・食事) 13:51 14:45・15:32 16:28・16:40 18:55									
概要・特記事項・反省事項等									
◆9/20(金) 午後 9 時に新宿駅西口交番前集合。KE さんが、予め奈良田温泉への宅急便を調べてくれており、コンビニでお風呂セットの発送処理を行い、夜行バスの集合場所へ向かう。夜行バスは定刻通り 10 時に出発。途中双葉で休憩して仮眠場所の白根桃源天笑閣に 24 時 30 分に到着。座布団を並べて手足を伸ばして仮眠をとることができた。									
◆9/21(土) 午前 4 時 30 分起床。5 時に広河原へ向けて出発。途中、芦安駐車場が非常に混んでおり、足止めをくらい 1 時間近く予定より遅れて 6 時 55 分に広河原へ到着。朝食・身支度を整えて 7 時 30 分に広河原を出発。快晴で、北岳が非常にきれいに見える。樹林帯の中を登ったが、それほど汗は出ない。日差しは強いが空気は確実に秋に変わっているようで乾燥している感じがした。10 時 15 分に二俣着。沢沿いで多くの登山客が休みながら涼をとっていた。									

10時32分に二俣発。ここからが大樺沢の登りの本番できつくなってくる。途中、昼食休憩を入れて13時50分に八本場のコルに到着。コル直前にハシゴの連続があり、かなりばてたが、とりあえずひと段落。このあたりは、木々が色づき始め紅葉が始まっているようだった。ここからは富士山も良く見えた。

WEさんとKEさんは以前北岳を登った事があるということで、直接北岳山荘へ向かうショートカットルート(トラバースルート)を進む(後から聞いたが、このショートカットコースにはきれいなお花がたくさん咲いていて感動したとのこと)。残りの6人で北岳へ向かう。

北岳頂上への最終分岐までもかなりの急登できつく、結局、AKさんも分岐で休憩(北岳頂上を踏むのは見送り)ということで、5名で北岳頂上へ向かうことになった。15時21分に北岳頂上着。日本第二位の山から富士山も良く見えたが、先ほどよりも雲が高くなっている感じ。記念写真を撮り、下山する。分岐でAKさんと合流して北岳山荘へ向かう。山荘には16時40分に着いたが、トラバースルート先行組の2名の宿泊受付がちょうど終わったところ。今日は非常に混雑しており受付に40分近くもかかったとのこと。2人/畳で寝ることになるという。大部屋にはすでに布団が敷いてあり、廊下でザックの整理を行う。18時45分に夕食。21時消灯。夜、北岳山荘の外へ出たが、天の川をかすかに見ることができた。

◆9/22(日)

午前4時30分起床。今日も快晴で、美しい日の出を見ることができた(日の出:5時30分)。5時50分に朝食をとり、準備を整えて6時32分に出発。

昨日の朝のバスが遅れた影響で、北岳山荘に着いた時間が遅れ、朝食時間が後回しになった影響で、結局この日の出発も計画から30分の遅れとなってしまった。中白根、間ノ岳と登り、農鳥小屋に着いたのが10時01分。計画より30分ほど遅い。

大門沢小屋への予約の際に16時までに入るように言われていたが、不可能と思われるため念のために小屋へTELをする。『17時近くでもOK。気を付けてきてください』との返答があり、気分が楽になった。10時11分に農鳥小屋を出発。直後に後ろから呼び止める声が出て、振り返ってみると、財布の忘れものらしい。KEさんがお水を買った際に置き忘れたらしく、親切にも農鳥小屋の主人が途中まで持ってきてくれた。

途中で昼食をとり、最後の農鳥岳に着いたのが12時34分。これで今回の登頂はすべて終了、あとは下るだけである。さらに進んで、大門沢の分岐に13時25分着。ここから急勾配の下りとなる。ただでさえ痩せた道となっている下山道に加え、1週間前の台風の影響でかなり荒れている。一步一步注意しながら進まなくてはならないところが箇所もあった。下りに疲れ切ったところに大門沢小屋があった。16時47分到着。やはり予定よりも30分近く遅れての到着となった。

受付をすると、1人7,500円に1,000円追加すると4名/室が使えるという。多分、事前に予約してあったので個室が取れたと思う。みんなすぐにOKという返事があり、個室を(5畳×2部屋に各4名ずつ)使用することにした。他の登山客は、広間で2人/畳という混雑であり、かなり贅沢な感じでゆっくりと眠ることができた。夕食(17時30分)までの間ビールで乾杯。20時に消灯だったが、疲れていて消灯前に寝てしまったようだ。

◆9/22(日)

午前4時15分起床。4時55分に朝食をとる。身支度を整えて、5時45分に出発。本日は下り道だけだが、下山道が荒れていることが想定されるので、慎重に進む。途中、丸太に板を打ち付けただけのような橋がいくつかあり、かなりスリルに富んだ下山であったが、みな無事に通過することができた。

最後の3つの吊橋を渡り、砂防ダム(?)の工事現場に着いたのが9時。ここからは、林道なのでゆっくり歩くことができる。10時05分に目指す奈良田温泉に到着。ゆっくりと入浴した後、昼食をとった。

奈良田から身延までのバス停で並んでいたところ(ザックを先頭に並べていた)、バスの運転手が、今日は人数が多いからジャンボタクシーで追加運転するとの話があった。先頭の我々は、ジャンボタクシーに乗ることができて、ノンストップでバスよりも30分近く早く身延に着くことができた。身延から特急『ふじかわ』に乗ることができて、本厚木には19時前に到着した。

今回の山行は想像以上に混雑して、バスも遅れた。台風明け(翌週)で、一週間前の山行予定者が、時期をずらして登った事の影響も考えられる。今後は、三連休という暦だけでなく、前後の天気も加味した混雑予想も必要と感じた。

◆参考データ: 直近山行(2013.8.10-13: 4名パーティ)と今回山行(2013.9.21-23: 8名パーティ)の歩行時間/所要時間比較とコメント

	農鳥小屋	⇒	大門沢下降点	⇒	大門沢小屋	⇒	奈良田温泉
・今回	2:31	/	3:14	2:58	/	3:15	3:53 / 4:20
・直近	2:16	/	3:13	3:15	/	3:55*	3:21 / 4:00 *赤字: 体調不良者あり
・ガトブツ	2:10	/	-	2:30	/	-	3:10 / -

今回の白根三山山行の方が、直近の塩見岳-農鳥岳山行より、M/Pに体調不良者が出て大幅にP-ダウンした区間(赤字表記部分)を除いて、歩行P-スは約10%(ガトブツに対しては17~20%)のP-スであった。